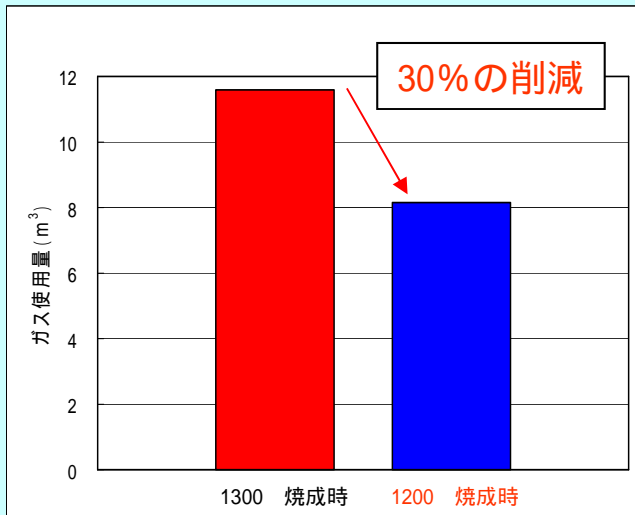


# 環境に配慮した砥部焼

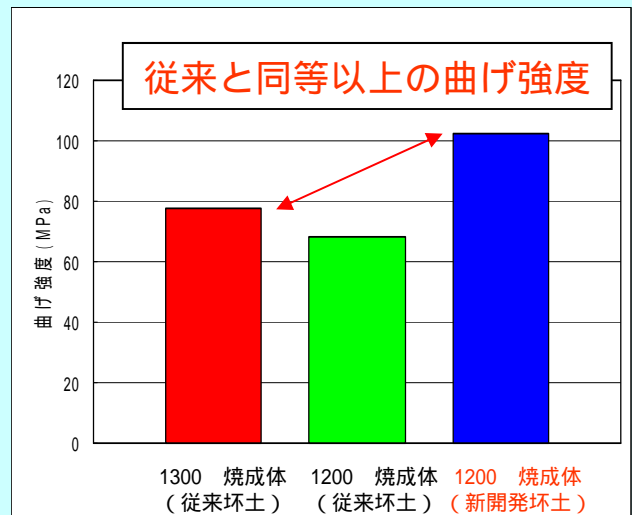
- 環境負荷低減型砥部焼開発研究 (H20~21) -

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 主任研究員 大塚 和弘

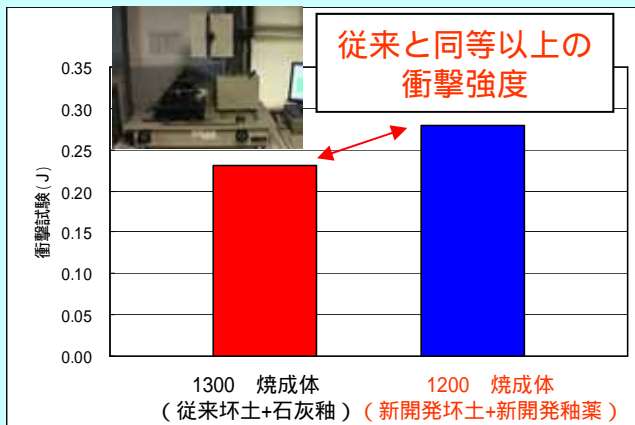
砥部焼の焼成時に使用するガス量及び焼成時に発生するCO<sub>2</sub>排出量の削減を目的として、従来よりも低い温度で焼成可能な砥部焼の開発を行いました。



焼成時のガス使用量



各無釉試験体の曲げ強度



各施釉試験体の衝撃強度



試作品写真 (1200 焼成)

1200 で焼成を行うことが可能な素地及び釉薬について研究し、新たな「環境負荷低減型砥部焼」を開発することができました。新開発品は従来の1300 焼成時に比べて、約30%の焼成用ガス燃料を削減、その強度も従来品を上回るものとなりました。